

板橋区文化財保護審議会委員の委嘱について

板橋区文化財保護条例第21条および同条例第22条の規定により、文化財保護審議会臨時委員を、下記のとおり委嘱する。

記

- 1 委嘱委員
別紙のとおり
- 2 委嘱期間
令和7年6月25日から令和9年6月24日まで

板橋区文化財保護審議会委員名簿

(アイウエオ順)

(令和 7 年 6 月 25 日現在)

No.	区分	氏 名	現 職 等	専門分野	在 任 期 間
1	再任	いしかわ ひでし 石 川 日出志	明 治 大 学 名 誉 教 授	考古学	平成 17 年 6 月 25 日 から
2	〃	いなぎ よしかず 稲 木 吉 一	女 子 美 術 大 学 名 誉 教 授	仏教美術	平成 19 年 6 月 25 日 から
3	〃	いのうえ とみお 井 上 富 夫	板 橋 史 談 会 副 会 長	地域史	令和 5 年 6 月 25 日 から
4	〃	えんどう ゆりこ 遠 藤 ゆり子	淑 徳 大 学 教 授	歴史学	平成 27 年 6 月 25 日 から
5	新任	すずき じゅん 鈴 木 淳	東 京 大 学 大 学 院 教 授	近代化遺産産業史 史跡整備	令和 7 年 6 月 25 日 から
6	再任	なかの たつや 中 野 達 哉	駒 澤 大 学 教 授	歴史学	平成 16 年 7 月 6 日 から
7	〃	はたの じゅん 波 多 野 純	日 本 工 業 大 学 名 誉 教 授	建築史	平成 15 年 6 月 25 日 から
8	新任	ふじい まさこ 藤 井 雅 子	日 本 女 子 大 学 教 授	日本古代中世史 (寺院社会史)	令和 7 年 6 月 25 日 から
9	再任	まつざき けんぞう 松 崎 憲 三	成 城 大 学 名 誉 教 授	民俗学	平成 21 年 6 月 25 日 から
10	〃	もぎ さかえ 茂 木 栄	國 學 院 大 學 名 誉 教 授	民俗芸能	令和 5 年 6 月 25 日 から

(任期) 令和 7 年 6 月 25 日～令和 9 年 6 月 24 日

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和7年6月25日現在

ふりがな	いしかわ ひ で し	年 齢	
氏 名	石 川 日 出 志		
職業等	明治大学名誉教授	専門分野	考古学
活動状況	<p>○平成9年、明治大学教授となり現在にいたる。</p> <p>○縄文時代・弥生時代を中心に、全国的に研究を展開。</p> <p>○昭和63年板橋区大門遺跡、平成2・3年同成増との山遺跡第2地点、平成6年同向原遺跡、平成11年同舟渡遺跡第3地点等の発掘調査団長を歴任。</p> <p>○文部科学省文化審議会専門委員（文化財部会）委員 文化庁「埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会」委員 茨城県文化財保護審議会委員 北区文化財保護審議会委員を務め、日本考古学協会会員としても活動。</p> <p>○著書は単著として、『農耕社会の成立』、『弥生時代の発見—弥生町遺跡—』、『弥生のムラから古墳のクニへ』、編著として『考古学ゼミナール 弥生人のまつり』、『展望 日本歴史3 原始社会』ほか論文多数。</p>		
推薦理由	<p>区内在住で、縄文時代・弥生時代について造詣が深く、また、区内の遺跡発掘調査に対しても調査団長として指導にあたられ、区の原始・古代についても造詣が極めて深い。</p> <p>また、隣接する北区文化財保護審議会委員を務められており、本区の文化財行政に対しても貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和7年6月25日現在

ふりがな	い な ぎ よ し か ず	年 齢	
氏 名	稲 木 吉 一		
職業等	女子美術大学名誉教授	専門分野	仏教美術
活動状況	<p>○平成11年女子美術大学教授となり現在にいたる。</p> <p>○世田谷区、江東区、豊島区、東村山市、東大和市、福生市、小田原市等の仏像彫刻悉皆調査、新宿区、杉並区、八王子市等の寺院調査に従事。</p> <p>○現在、世田谷区、新宿区、杉並区、東村山市の文化財保護審議会委員を務め、美術史学会、美学会、宗教文化史学会会員としても活動。</p> <p>○著書として、『仏教美術事典』（東京書籍）、『週間日本の仏像』（監修・講談社）、『日本の古寺美術⑩新薬師寺と白毫寺・円成寺』（共著・保育社）、『寧楽美術の争点』（共著・グラフ社）ほか論文多数。</p>		
推薦理由	<p>古代・中世を中心とした日本東洋美術史研究、及び東京を中心に関東地方の仏像彫刻の調査研究に長年携わられ、仏教美術に大変造詣が深い。</p> <p>また、新宿区、世田谷区、杉並区と東村山市の文化財保護審議会委員を務められており、周縁区における仏教美術の特性に通じており、本区の文化財行政に対しても貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和7年6月25日現在

ふりがな	いのうえ とみお	年 齢	
氏 名	井 上 富 夫		
職業等	板橋史談会副会長	専門分野	地域史
活動状況	<p>○昭和49年に板橋史談会入会し、平成17年より副会長を務める。</p> <p>○令和4年より板橋区観光ボランティアとして活動。</p>		
推薦理由	<p>区内在住で、古くから板橋区の歴史研究に携わり、地域史について極めて造詣が深い。</p> <p>板橋史談会は、区内の史跡・文化財等に対し卓越した知識を持つ団体であり、「板橋区史」の編纂事業や史跡散歩事業など区の事業への協力実績も豊富であり、本区の文化財行政に対し、貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和7年6月25日現在

ふりがな	えんどう ゆりこ	年 齢	
氏 名	遠 藤 ゆり子		
職業等	淑徳大学教授	専門分野	歴史学
活動状況	<p>○平成26年4月 淑徳大学人文学部歴史学科教授。</p> <p>○単著は『中近世の家と村落—フィールドワークからの視座—』、『戦国時代の南奥羽社会』、『東北の中世史4』など、中近世移行期の村落研究を対象とした分析に実績がある。</p> <p>○所属学会 歴史学研究会・地方史研究協議会・東国戦国史研究会ほか</p>		
推薦理由	<p>区内所在大学の歴史学科に在籍し、地域史研究にもあたるなど、区内の文化財に関する研究を行っている。国内における中世・近世に関する研究実績があり、中世史・近世史に造詣が深い。</p> <p>上記のことから、本区の文化財行政に対しても指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和7年6月25日現在

ふりがな	す ず き じゅん	年 齢	
氏 名	鈴 木 淳		
職業等	東京大学大学院教授	専門分野	近代化遺産産業史 史跡整備
活動状況	<p>○平成4年東京大学社会科学研究所助手 ○平成6年東京大学教養学部助教授 東京大学大学院総合文化研究科助教授 ○平成8年1月 ドイツ、ボーフム大学客員教授（～同年10月） ○平成11年東京大学大学院人文社会系研究科助教授 ○平成19年同准教授 ○平成24年同教授となり現在に至る。 米国、イエール大学客員研究員（～平成25年） ○平成28年板橋区史跡公園（仮称）整備構想委員会委員 ○平成30年史跡陸軍板橋火薬製造所跡保存活用・整備基本計画策定委員会委員（～令和3年） ○令和3年史跡陸軍板橋火薬製造所跡整備専門委員会委員</p> <p>○著書として、『明治の機械工業』（ミネルヴァ書房）『町火消たちの近代』（吉川弘文館）『維新の構想と展開』（講談社）『新技術の社会誌』（中央公論新社）などがある。</p>		
推薦理由	<p>日本近代史において造詣が深く、実績も豊富であるとともに、平成28年度からは板橋区史跡公園（仮称）整備構想委員会、さらに後継の委員会である史跡陸軍板橋火薬製造所跡保存活用・整備基本計画策定委員会（平成30年度～令和2年度）、史跡陸軍板橋火薬製造所跡整備専門委員会（令和3年度～現在）の委員を務め、当区の文化財についても詳しい。</p> <p>また、国文化審議会専門委員を歴任するほか、横須賀市や富岡市の近代遺産保存活用に関わる委員を務めるなど、国内外の文化財保護の動向および近代遺産の保存と活用の問題に関する第一人者である。</p> <p>上記のことから、区内外の活動歴を含め、文化財行政に対し貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和7年6月25日現在

ふりがな	な か の た つ や	年 齢	
氏 名	中 野 達 哉		
職業等	駒澤大学教授	専門分野	歴史学
活動状況	<p>○平成20年、駒澤大学教授となり現在にいたる。</p> <p>○平成2年から板橋区史編さん調査会近世部会専門委員、平成6年からは同専門主査として区史編纂事業に携わる。</p> <p>○平成3年以降、区内の「安井家文書」、「飯田侃家文書」の調査・資料整理を担当。</p> <p>○墨田区、武蔵野市、三鷹市の文化財保護審議会委員を務める。</p> <p>○板橋区に関わる業績・著作として、『板橋区史資料編3』及び『板橋区史通史編上巻』「近世編」の執筆編集、「新出の安井家文書の調査経過と課題」（『いたばし区史研究』創刊号）、「下板橋宿名主飯田侃文書について」（『同』第4号）、「近世初頭武蔵における板倉勝重の検地と代官支配」（『同』第6号）、「江戸周辺地域在村百姓の武家接近活動」（『板橋区立郷土資料館紀要』13）、「近世前期中山道板橋宿の名主・問屋役について」（『駒沢史学』55号）、「江戸周辺農村における武家抱屋敷と地域社会」（『関東近世史研究』39）などがある。創刊号）、「下板橋宿名主飯田侃文書について」（『同』第4号）、「近世初頭武蔵における板倉勝重の検地と代官支配」（『同』第6号）、「江戸周辺地域在村百姓の武家接近活動」（『板橋区立郷土資料館紀要』13）、「近世前期中山道板橋宿の名主・問屋役について」（『駒沢史学』55号）、「江戸周辺農村における武家抱屋敷と地域社会」（『関東近世史研究』39）などがある。</p>		
推薦理由	<p>平成2年以来7年にわたり区史編纂事業に携わられるとともに、区内古文書調査を担当され、区の歴史、特に近世史に詳しく造詣が深い。</p> <p>墨田区などの文化財保護審議会委員を務めており、周縁区の歴史や文化財に関しての精通し、当区の文化財行政に対し貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和7年6月25日現在

ふりがな	は た の じゅん	年 齢	
氏 名	波 多 野 純		
職業等	日本工業大学名誉教授 波多野純建築設計室 代表	専門分野	建築史
活動状況	<p>○平成3年、日本工業大学教授となり、学長を経て、平成29年退職。</p> <p>○平成10年「江戸城Ⅱ〈侍屋敷〉」で建築史学会賞受賞。</p> <p>○平成12年度、板橋区文化財保護審議会臨時委員として「松月院大堂」の調査を実施。平成14年度「粕谷家住宅調査」、平成17年度「文化財墨書資料赤外線撮影」、平成18年度「大堂鐘楼調査」「大日本・インキ化学工業建物調査」、平成19年度「常盤台・斯波家住宅調査」、「小茂根大野家住宅」、平成20年度「旧粕谷家住宅調査」、「徳丸篠田家住宅調査」、平成21年度「志村熊野神社絵馬殿調査」を委託するとともに、都近代和風建築調査の板橋区域担当委員として、「安養院庫裡」、「板五米店」「志村斎藤商店」の調査を実施。平成27年～平成29年度旧粕谷家住宅復元工事ならびに保存活用計画作成。</p> <p>○埼玉県文化財保護審議会委員、建築史学会常任委員としても活動。</p> <p>○著書として『江戸城Ⅱ ー城郭・侍屋敷古図集成ー』、『復原・江戸の町』ほか多数。</p>		
推薦理由	<p>建築学、特に建築史分野において造詣が深く、実績も豊富であるとともに、埼玉県において文化財保護審議会委員を務めている。平成12年度以来、区内の建築調査を数多く実施し、とくに旧粕谷家住宅の復元工事にあたった。</p> <p>なお、平成30年からは史跡陸軍板橋火薬製造所跡保存活用計画・整備基本計画策定委員会の委員長を務めている。</p> <p>上記のことから、当区の文化財行政に対し貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和7年6月25日現在

ふりがな	ふ じ い ま さ こ	年 齢	
氏 名	藤 井 雅 子		
職業等	日本女子大学教授	専門分野	日本古代中世史 (寺院社会史)
活動状況	<p>○令和3年、日本女子大学文学部史学科教授となり現在に至る。 ○文部科学省 文化審議会専門委員 ○茨城県古河市文化財審議会 審議委員 ○神奈川県文化財保護審議会 審議委員 ○日本古文書学会 評議委員</p> <p>【論文】・「醍醐寺・根来寺と田舎本寺との寺僧交流―尾張国万徳寺を通して―」（永村眞編『中世寺院社会と仏法』勉誠出版、2021年6月） ・「室町前期における地方住僧の修学活動―醍醐寺報恩院隆源と越前国三国湊瀧谷寺睿憲との関わりを通して―」（『日本女子大学文学部紀要』（73）、2024年3月）</p> <p>【著書・出版物】・『中世醍醐寺と真言密教』（勉誠出版、2008年） ・醍醐寺文化財研究所編『醍醐寺文書聖教目録』巻一～四・六（勉誠出版、2000年3月～2017年3月） ・『総和町史』史料編1 考古・古代中世篇（担当：分担執筆）（茨城県総和目地教育委員会、2000年3月）</p>		
推薦理由	<p>藤井雅子氏は、真言密教寺院研究の第一人者である。国宝である醍醐寺（京都府）の文書・聖教調査に中心的な研究者として携わられており、このほか金剛寺（大阪府）、根来寺（和歌山県）などの調査にも従事されている。真言密教の経典を含む聖教の歴史及び仏教文化を熟知し、仏教文化の専門的な見地からの助言が可能で、専門的な知見から助言・指導を行うことができる立場にある。より幅広い視点での区の魅力の醸成を目指し、板橋区内の寺社に所蔵されている文化財の掘り起こしと専門的な知見による評価が必要であるため、委員に推薦する。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和7年6月25日現在

ふりがな	まつざき けんぞう	年 齢	
氏 名	松 崎 憲 三		
職業等	成城大学名誉教授	専門分野	民俗学
活動状況	<p>○平成6年成城大学教授、平成30年退職。</p> <p>○平成2年から同12年にかけて板橋区史編さん調査会民俗部会部会長を務める。</p> <p>○日本民俗学会、日本民族学会、日本民具学会</p> <p>○著書として、『巡りのフォークロア 遊行仏の研究』（名著出版）、『現代社会と民俗』（名著出版）、『現代供養論考 ヒト・モノ・動植物の慰霊』（慶友社）、『ポックリ信仰 長寿と安楽往生祈願』（慶友社）、『地蔵と閻魔・奪衣婆 現世・来世を見守る仏』（慶友社）、『民俗信仰の位相 変質と多様性をさぐる』（岩田書院）、『同郷者集団の民俗学的研究』（編著・岩田書院）など多数</p> <p>○練馬区文化財保護審議会委員</p> <p>○板橋史談会会長</p>		
推薦理由	<p>区内在住で、民俗学において造詣が深く、実績も豊富であるとともに、平成2年から12年にかけて区史編さん調査会民俗部会部会長を務め、当区の文化財についても詳しい。</p> <p>また、国文化審議会専門委員を歴任し、令和3年からは、板橋史談会会長に就任した。</p> <p>上記のことから、区内外の活動歴を含め、文化財行政に対し貴重な指導助言が期待される。</p>		

板橋区文化財保護審議会委員候補者調書

令和7年6月25日現在

ふりがな	も ぎ さかえ	年 齢	
氏 名	茂 木 栄		
職業等	國學院大學名誉教授	専門分野	民俗芸能
活動状況	<p>○平成19年、國學院大學教授となり現在にいたる。</p> <p>○民俗芸能学会代表理事、神道宗教学会理事、NP0法人社叢学会理事</p> <p>○著書として『まつり伝承論』（大明堂）、『大和の伝承文化』上・下（共著・名著出版）、『宗教儀礼にみる自然・社会環境の読み込み構造の解析』（共著・文部省科学研究費報告）、『祭礼の史的類型に関する研究』（共著・研究代表・文部省科学研究費報告）『日本の神々の事典』（共著監修・学習研究社）など多数。</p>		
推薦理由	<p>民俗芸能学会代表理事を務めるなど、民俗芸能について極めて造詣が深く、実績も豊富である。</p> <p>上記のことから、本区の文化財行政に対しても指導助言が期待される。</p>		